



未就学児の生活習慣と インターネット利用に関する保護者意識調査結果

2017年2月

子どもたちのインターネット利用について考える研究会



調査を終えて

- 操作が容易なスマートフォンやタブレットなどが家庭に広く普及したことで、子どもたちの情報機器デビューの低年齢化が著しい。特に、未就学児の情報機器との接触については、「スマホ子守り」「スマホ育児」などと、保護者への批判的なとらえ方も少なくない。
- しかし本件調査の結果からは、保護者のほとんどが低年齢からの利用の弊害について何らかの懸念を持っていることが分かった。
- また、未就学児の情報機器利用（用途）の多くは、ネットにつながってなくても出来る「機器の中の写真や動画を見る、撮る」であった。またネットにつながっている時の利用では、「動画を見る、ゲームをする」といった利用が目立つ。これらは、古くから議論と研究が進んでいる「テレビやゲームとの付き合い方」に収束できる利用範囲と言える。
- その一方で、今回調査では「コンテンツとの接し方」「睡眠についての理解」などの基礎的な知識が不十分と見られる保護者も少なくないことも分かった。情報機器の与え方について、「常識的な範囲であれば大丈夫」との指摘も見られるようになっているが、保護者には、「常識的な範囲」の中身が伝わっていない可能性が高い。学習ニーズも高く、中でも集合研修以外への期待が大きいことがわかった。
- 当研究会では、これらを踏まえ、未就学児のインターネットや情報機器利用と生活習慣について、保護者に役立つ、判断の目安となる指針や教育啓発のあり方を検討し、今年度末に報告書として広く提言を行っていきたい。



調査概要

- 調査期間：2016年10月21日～2016年10月24日
- 調査方法：ウェブアンケート方式（ファストアスク（ジャストシステム社）に委託）
- 調査対象
 - 第一子に未就学の子どもをもつ保護者
- 回答者の構成
 - 保護者性別：父親 50 %、母親 50 %
 - 保護者年代：20代 31.0%、 30歳代 58.8%、 40歳代、 10.2%
 - 子どもの性別：男児 53.9%、 女児 46.1%
 - 子どもの年齢：0歳 9.6%、1歳 12.3%、 2歳 14.4%、
3歳 19.4%、4歳 17.2%、 5歳 16.3%、 6歳 10.8%
 - 育児の形態：
自宅で父または母が保育をしている 32.8%、幼稚園に通わせている 33.9%
保育園、保育所に通わせている33.2%
 - 地域：
北海道 4.3%、東北地方 4.5%、関東地方 37.8%、中部地方 17.0%、近畿地方 18.9%、
中国地方 5.6%、四国地方 2.5%、九州地方 9.5%
- 有効回答数（回収数）：1149件
- 調査主体：子どもたちのインターネット利用について考える研究会



主なポイント

- 1歳児の4割超、3歳児の6割、6歳児の7割超がスマホなどの利用を経験、6割近くは、2歳までに機器の利用を開始
 - 未就学児の5割以上が、なんらかの情報通信機器の利用を経験している。最も利用されているのは「スマートフォン」(34.8%)。
 - 2015年発表の先行調査※1と、本調査の「端末利用率」を比較すると、各年齢とも本調査のほうが10-20ポイント高い。
 - 情報通信機器の利用開始年齢は「2歳」が26.2%で最多。「0歳から」(9.6%)、「1歳から」(23.6%)と合わせ、ほぼ6割の子どもが2歳までに情報通信機器の利用を始めている。
- 機器を利用する子どもの半数以上は「毎日必ず」または「ほぼ毎日」触れている
 - 利用の頻度は「毎日必ず」(19.9%)、3割が「ほぼ毎日」(30.7%)と、機器を利用する子どもの約5割以上は、なんらかの情報通信機器に日常的に触れている。
 - 「毎日必ず」「ほぼ毎日」利用する割合は、「3～6歳」層(計48.5%)より「0～2歳」層(計56.3%)が高い。
 - 利用している時間帯は「自宅内で遊んでいる間」(38.5%)が最多。以下、「夕食後から就寝前まで」(28.3%)、「帰宅してから夕食前まで」(24.1%)が続く。

※1 未就学児等のICT利活用に係る保護者の意識に関する調査報告書(総務省情報通信政策研究所)
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01iicp01_02000034.html



主なポイント

- 未就学児の機器利用はもっぱら「写真や動画の閲覧」や「ゲーム」
 - 機器利用の内容としては、ネット接続の有無にかかわらず、「写真や動画の閲覧」が上位となった。
 - 0～2歳層では「機器の中にある写真や動画の閲覧」の割合が高いが、3～6歳層では「ネット上の動画閲覧」や「ゲーム」、「知育アプリ」利用が増える。
 - 子どもが機器を使う場面としては、「子どもが使いたがる時」が44.4%で最多。以下「親が手を離せないとき（31.7%）」、「親子で一緒に（25.9%）」と続く。
 - 子どもにネットを使わせる理由としては、「子どもの機嫌が良くなる（53.7%）」、「保護者の手離れの時間ができる（40.4%）」、「機器に触れたがる（27.5%）」に回答が集まった。
- まだ利用させていない保護者の多くが考える「利用させてもよい時期」は小学生以降
 - 全体の4割を占める「子どもに情報通信機器を利用させていない」保護者のうち8割以上が、その理由として「まだ早すぎると思うから」を選択した。
 - 機器を使い始めてもよいと考える時期は「小学校低学年」が36.2%で最多、「小学生高学年」とあわせ、計59.2%の保護者が「小学生段階で利用させたい」と考えている。また、「中学生」「高校生」との回答も計22.1%あった。



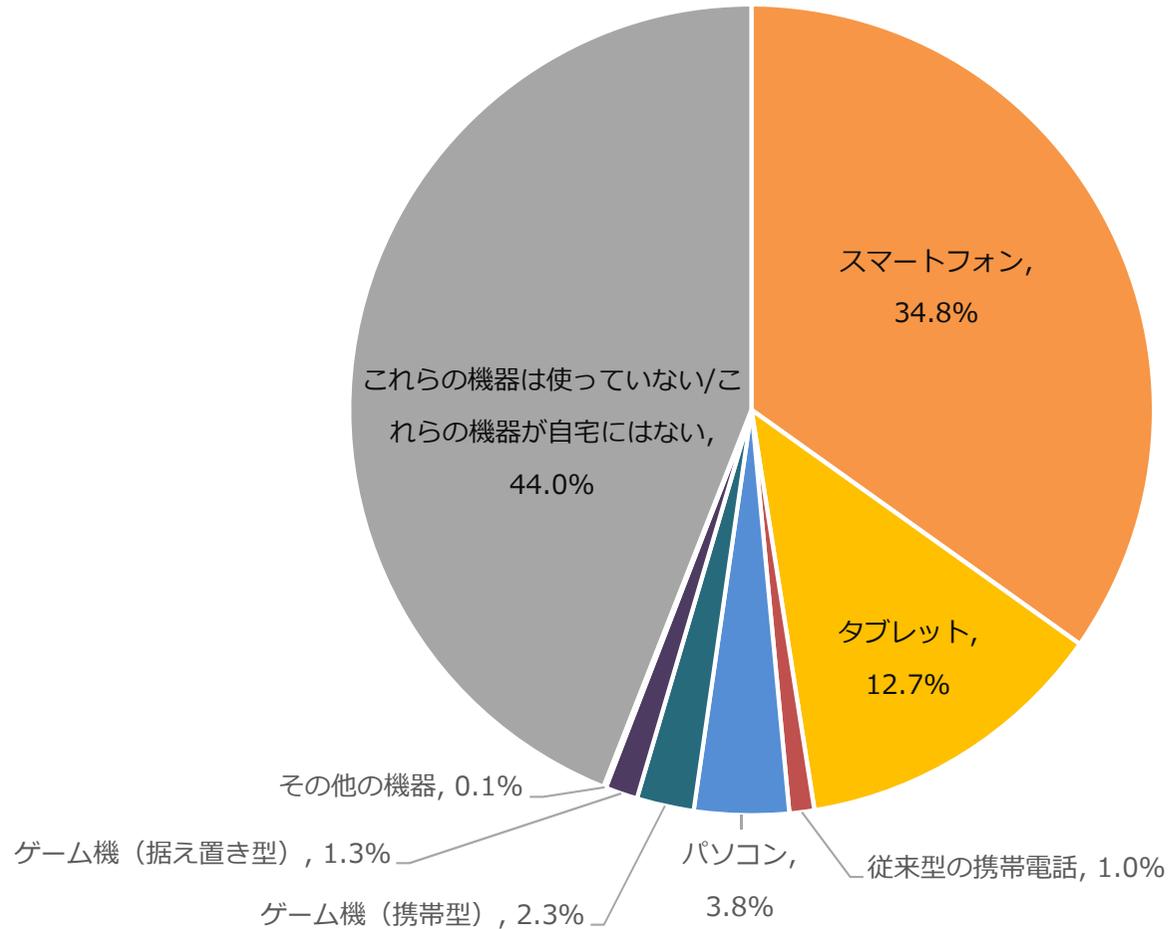
主なポイント

- 7割以上の保護者が「使い方のお手本」を自ら意識、6割以上の保護者が睡眠やコンテンツとの関わりについてのたまかには正しく理解
 - 7割以上の保護者が「子どもへの影響を考え、自身の使い方を気にしている」と回答した。
 - 6割以上の保護者が「子どもと一緒に番組を視聴し、その内容について話し合うことは発達に好影響を与える」と正しく回答した。その一方、「番組やコンテンツの内容が子どもの発達に与える影響は変わらない（23.2%）」や「一人きりで見せるほうが子どもの発達には望ましい（7.5%）」などの誤りを選択した保護者も。
 - 6割以上の保護者が「子どもに必要な睡眠時間の目安を知っている」と回答。
- 懸念や関心は高いものの、保護者自身の学習へのハードルは高い
 - 機器の設定やアプリの選定以前に、「視力や脳、運動能力や心理発達への悪影響の有無」（54.7%）、「睡眠時間や睡眠の時間帯と健康や成長の関係」（46.9%）と「子どもの心身への影響」に関することへの関心が高い。
 - 子どもに使わせながらも「気にしていることは特にない」とした保護者はごく少数（6.1%）にとどまった。
 - 子どもの安全な利用に関する知識に関しては、8割以上の保護者が、なんらかの形で機器の使わせ方や安全な利用について学びたいと回答。学習の方法では、集合型の研修以外へのニーズが高い。



未就学児が最もよく使う情報通信機器

Q. お子さんは、下記の情報通信機器を利用することがありますか。複数の機器を利用することがある場合は最もよく使う機器をお答えください（単一回答）

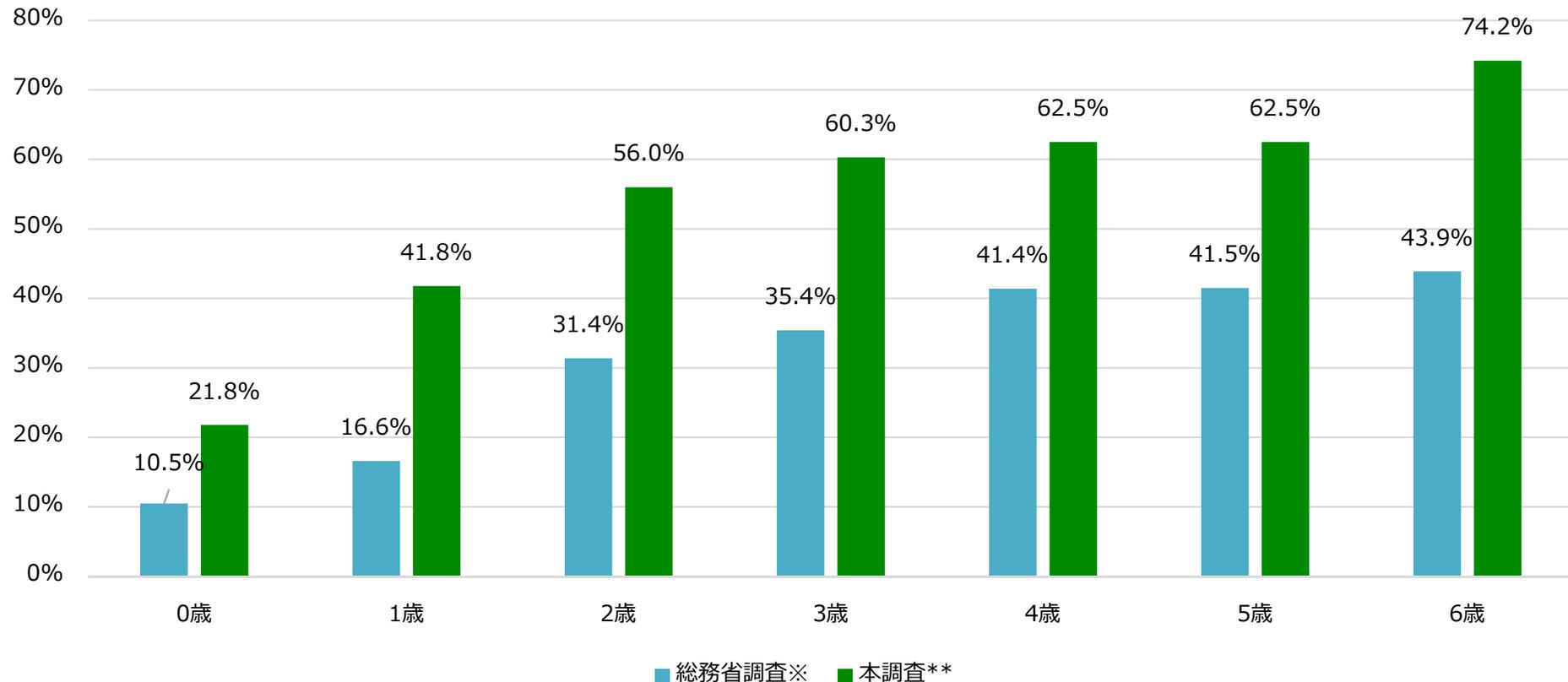


未就学児の56%が、なんらかの情報通信機器を利用。最もよく使われる機器はスマートフォン。



【参考】未就学児の情報通信端末に関する他調査との比較

端末利用率（未就学児のみを抽出し比較）



※2015年 未就学児等のICT利活用に係る保護者の意識に関する調査報告書 概要版(総務省情報通信政策研究所)「■お子様の情報通信端末利用率（保護者が見せたり使わせたりしているものも含む）」の0歳から6歳部分抜粋

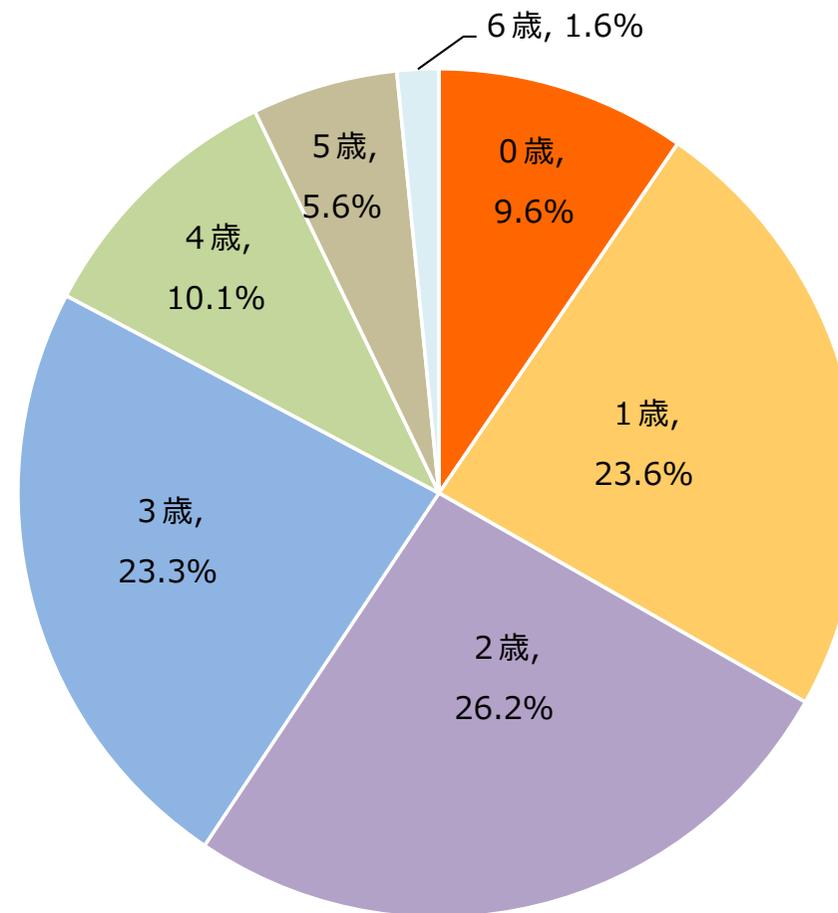
**「Qあなたの第一子のお子さんは、下記の機器を利用することがありますか。複数の機器を利用することがある場合は最もよく使う機器をお答えください」で「これらの機器は使っていない/これらの機器が自宅にはない」以外の回答を積み上げたもの

1～6歳においては20%以上も本調査のほうが利用率が高かった。



未就学児が情報通信機器を利用し始めた年齢

Q. お子さんが初めてスマートフォン、タブレット、パソコン、ゲーム機などの機器のいずれかを見たり使ったりし始めたのは何歳からですか（単一回答）（n = 644）

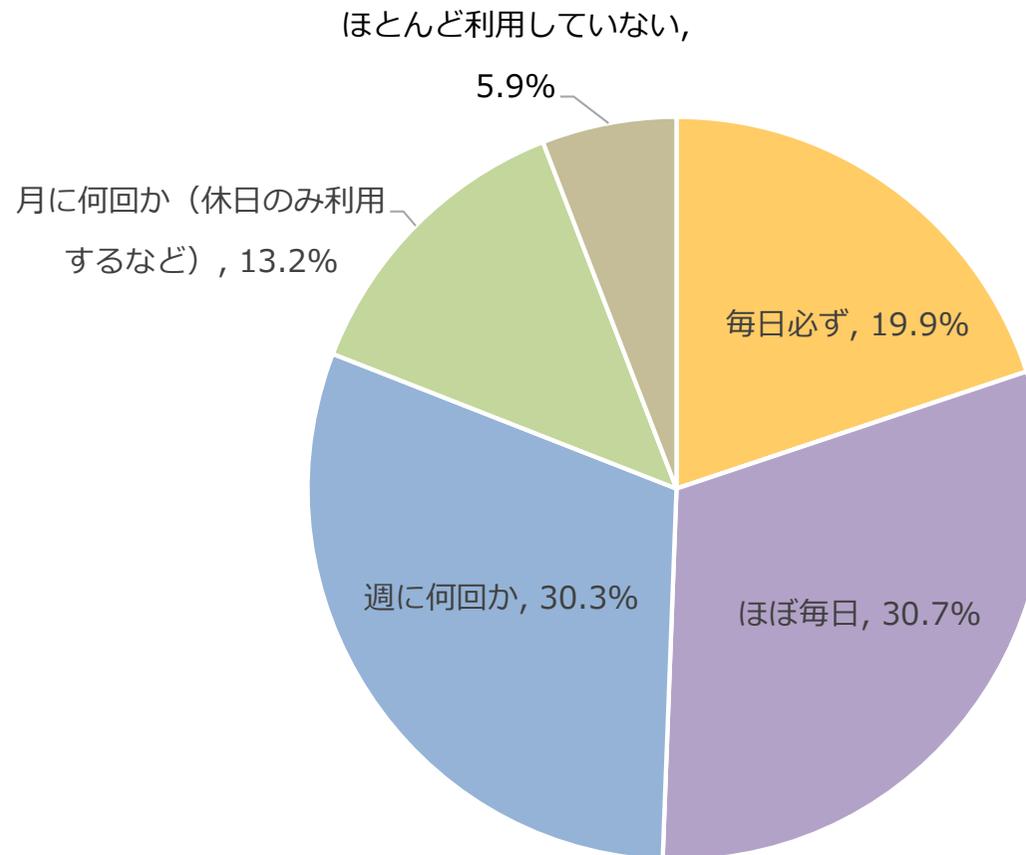


ほぼ6割が2歳までに利用を開始



未就学児の情報通信機器利用頻度

Q. お子さんは「最もよく利用している機器」を、どのくらい利用していますか（単一回答）（n = 644）

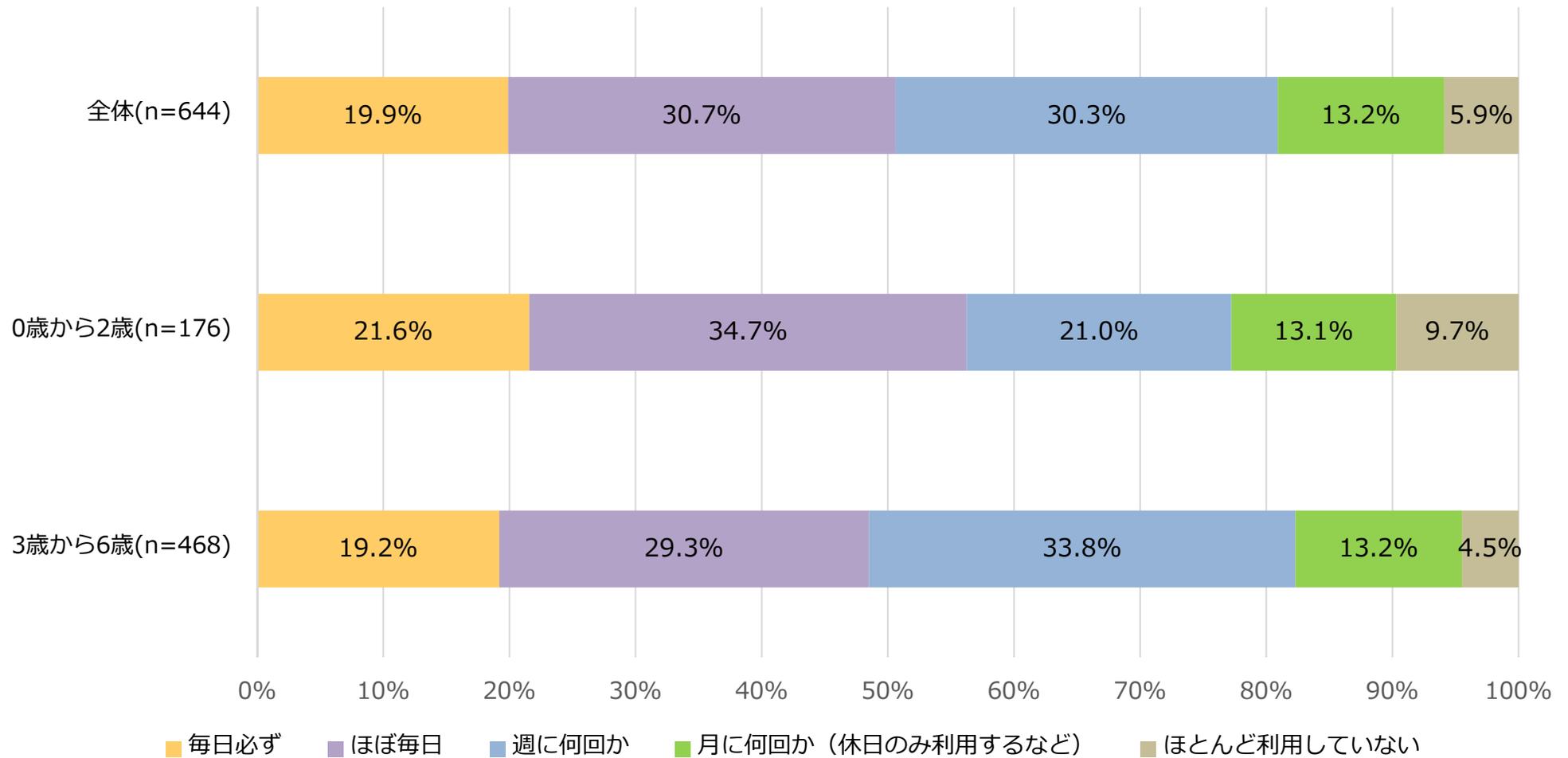


利用している子どもの5割は、日常的に機器に触れている



未就学児の情報通信機器利用頻度（年齢層別）

Q. お子さんは「最もよく利用している機器」を、どのくらい利用していますか（単一回答）



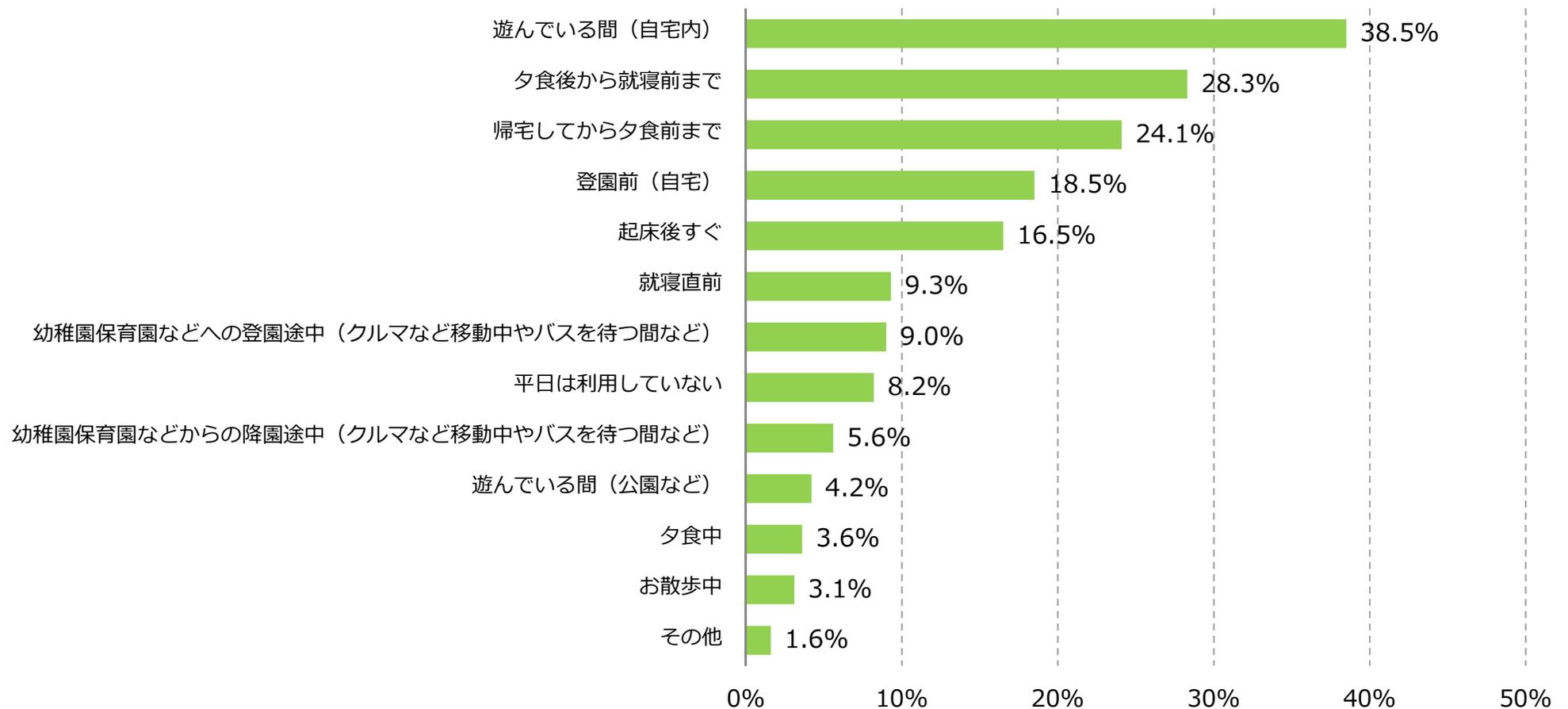
「0～2歳」層のほうが「毎日必ず」「ほぼ毎日」とも高い



未就学児が情報通信機器を利用する時間帯

Q. お子さんは「最もよく利用する機器」をいつ利用しますか（平日）（複数回答可）

(n=644)



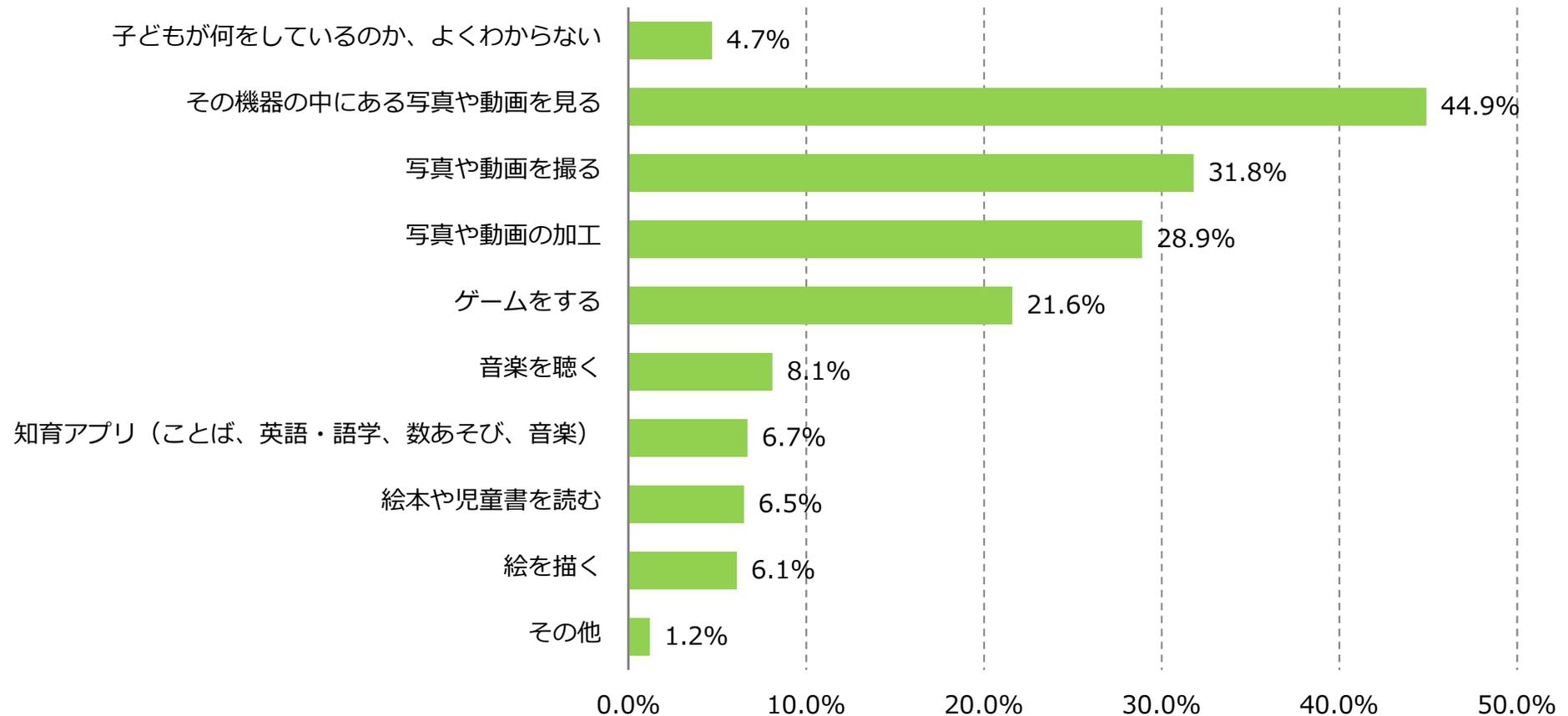
「自宅で遊んでいる間」や「帰宅後から就寝前」の利用が多い



未就学児が情報通信機器で行っていること (ネットにつながってなくてもできること)

Q. お子さんは「最もよく利用する機器」でどんなことをしていますか。(複数回答可)

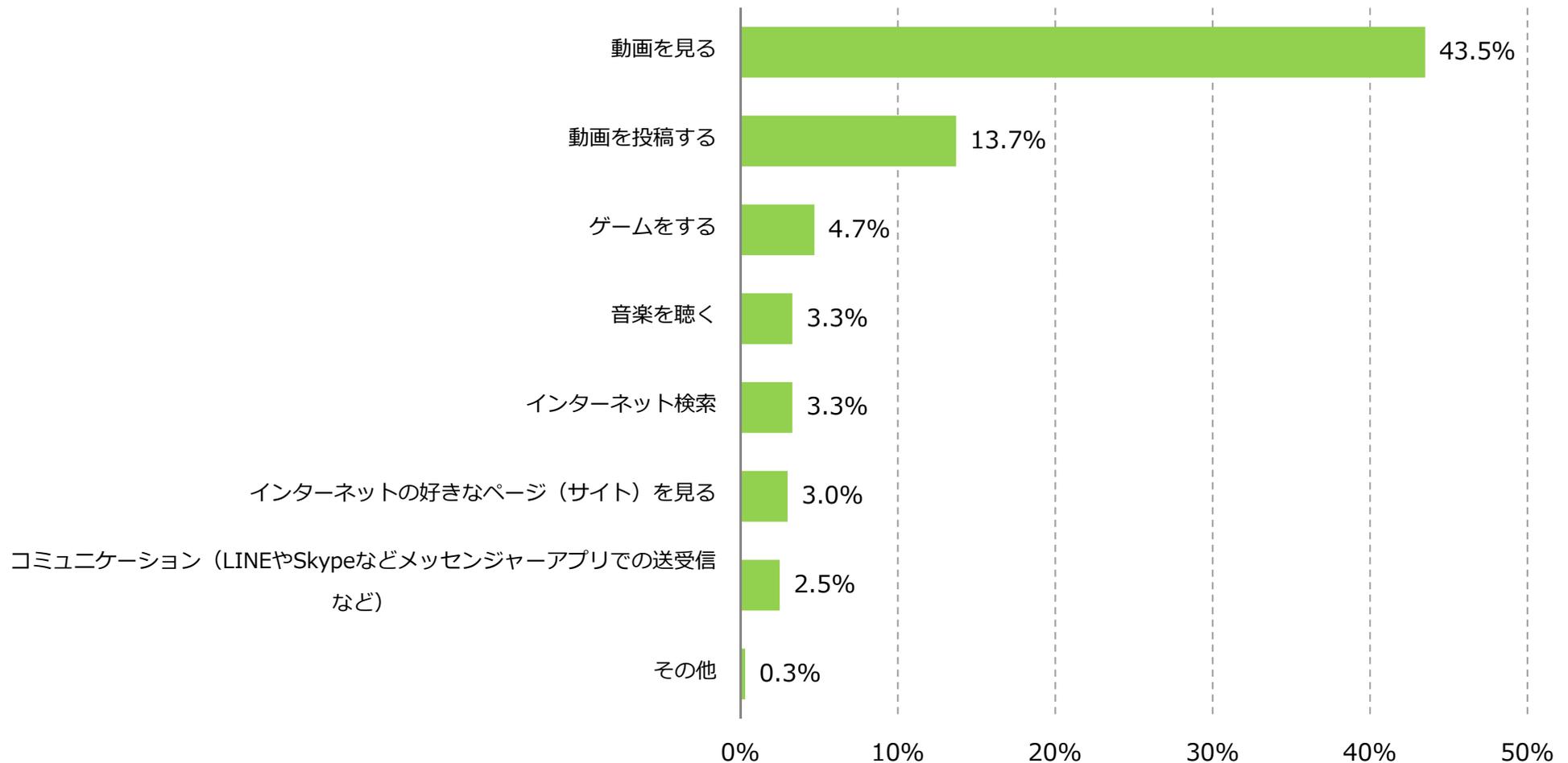
(n=644) (よくわからない・インターネットにつながってなくてもできる)



インターネットに接続しないでもできる利用の実際は、端末内にある「写真や動画」に関連するものが多い

未就学児が情報通信機器で行っていること (ネットにつながっている時にできること)

Q. お子さんは「最も利用している機器」で、どんなことをしていますか。(複数回答可) (n=644)

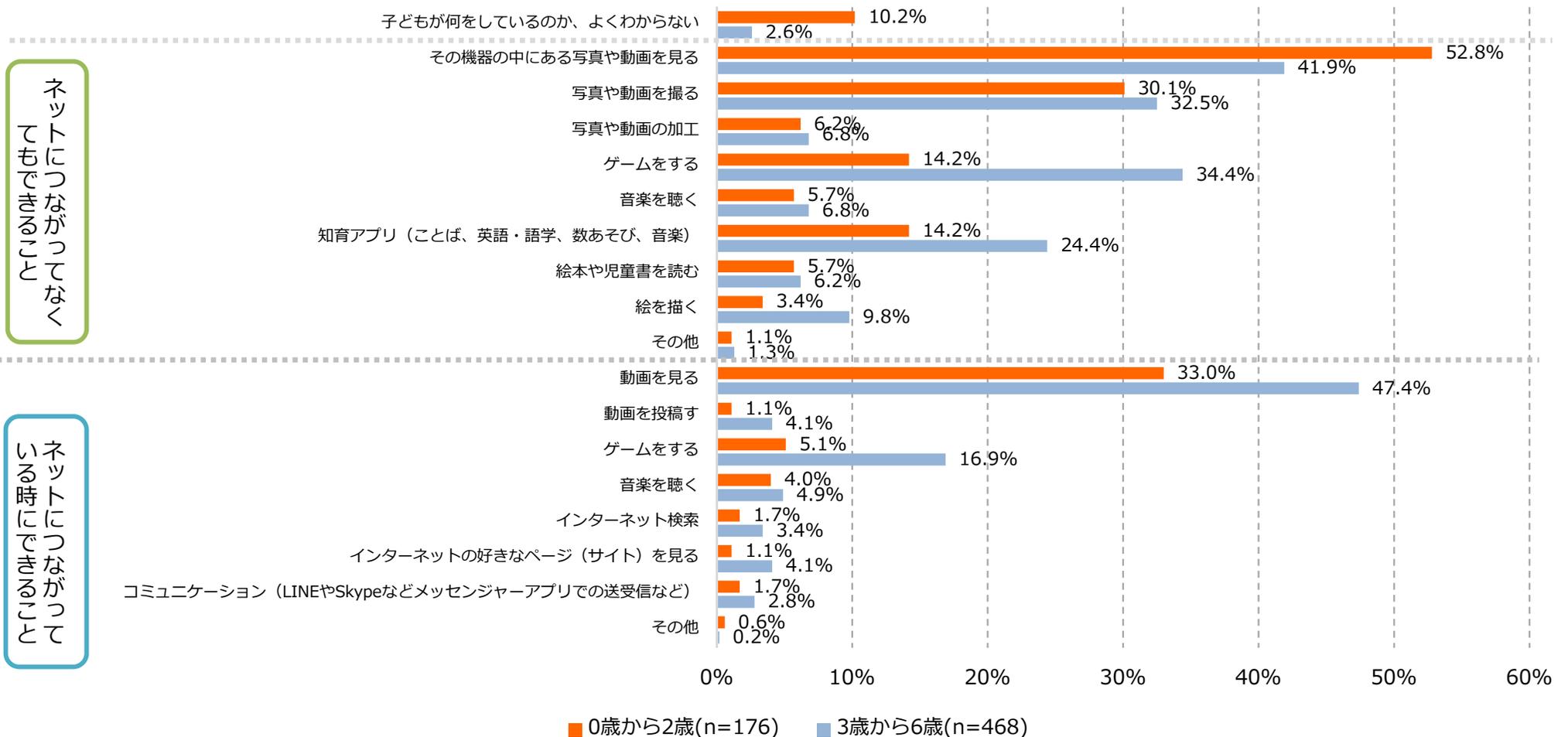


インターネットに接続しての利用は「動画を見る」が多く、発信利用や検索などはまだ少ない



未就学児が情報通信機器で行っていること（年齢層別）

Q. お子さんは「最もよく利用している機器」でどんなことをしていますか。（複数回答可）



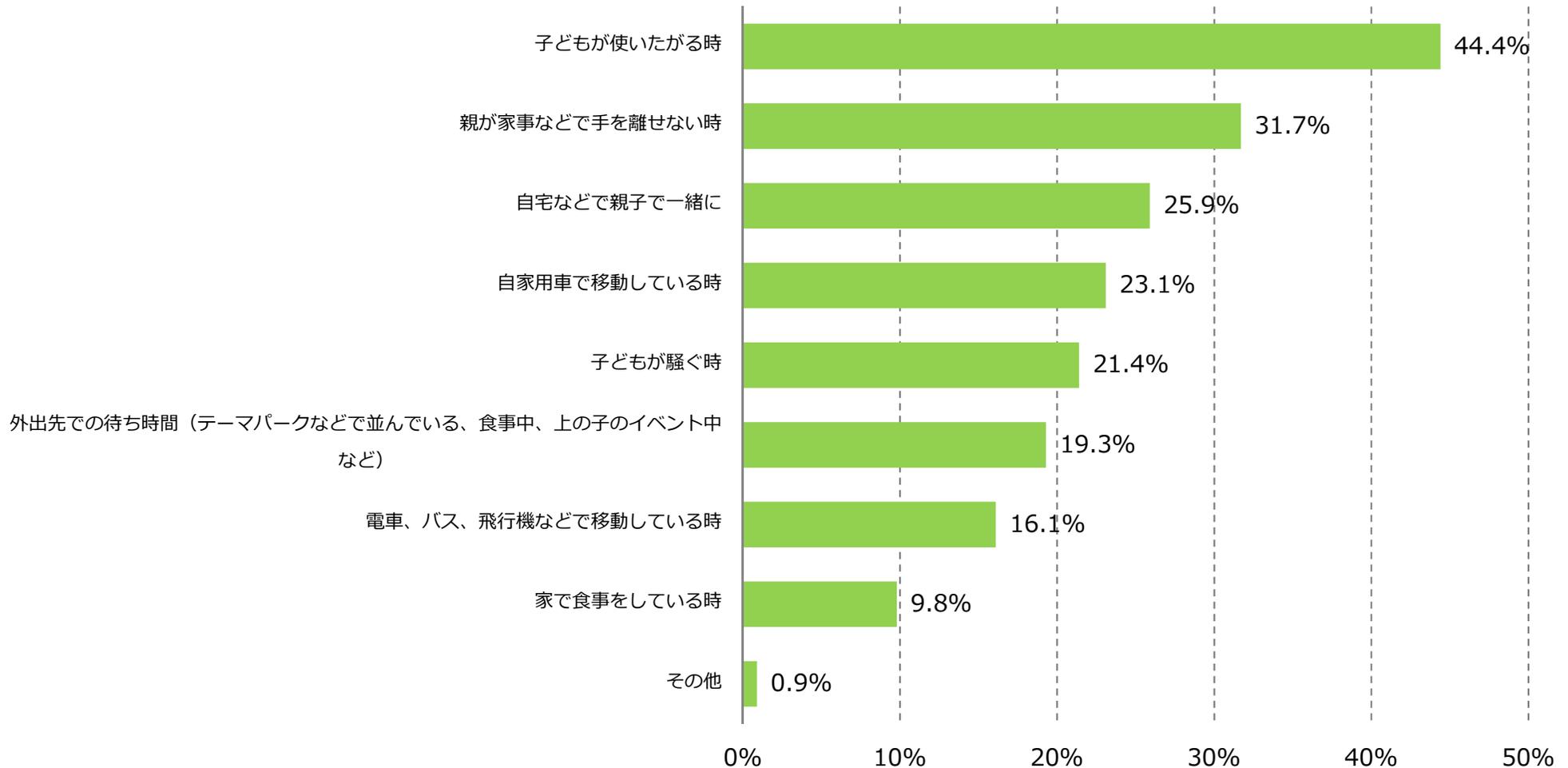
3～6歳になると、ゲームの利用やネット接続での動画閲覧が増える



未就学児に情報通信機器を使わせる場面

Q. お子さんが「最も利用している機器」を使う場面はどのようなときですか（複数回答可）

(n = 644)



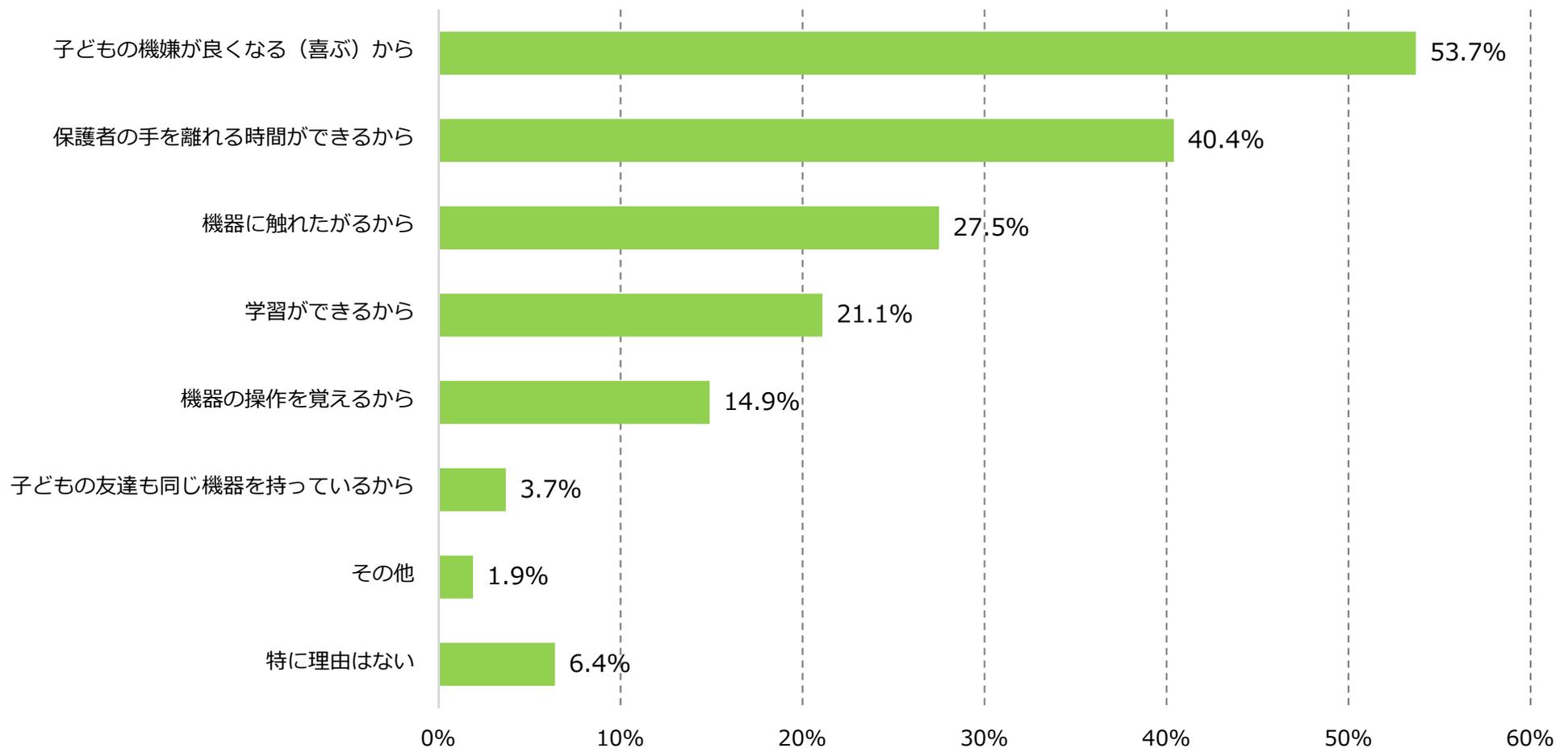
保護者がやむにやまれず使わせている様子が見られる



未就学児に情報通信機器を使わせている理由

Q. お子さんに「最も利用している機器」を使わせている理由として当てはまるものを教えてください。

(複数回答可) (n = 644)

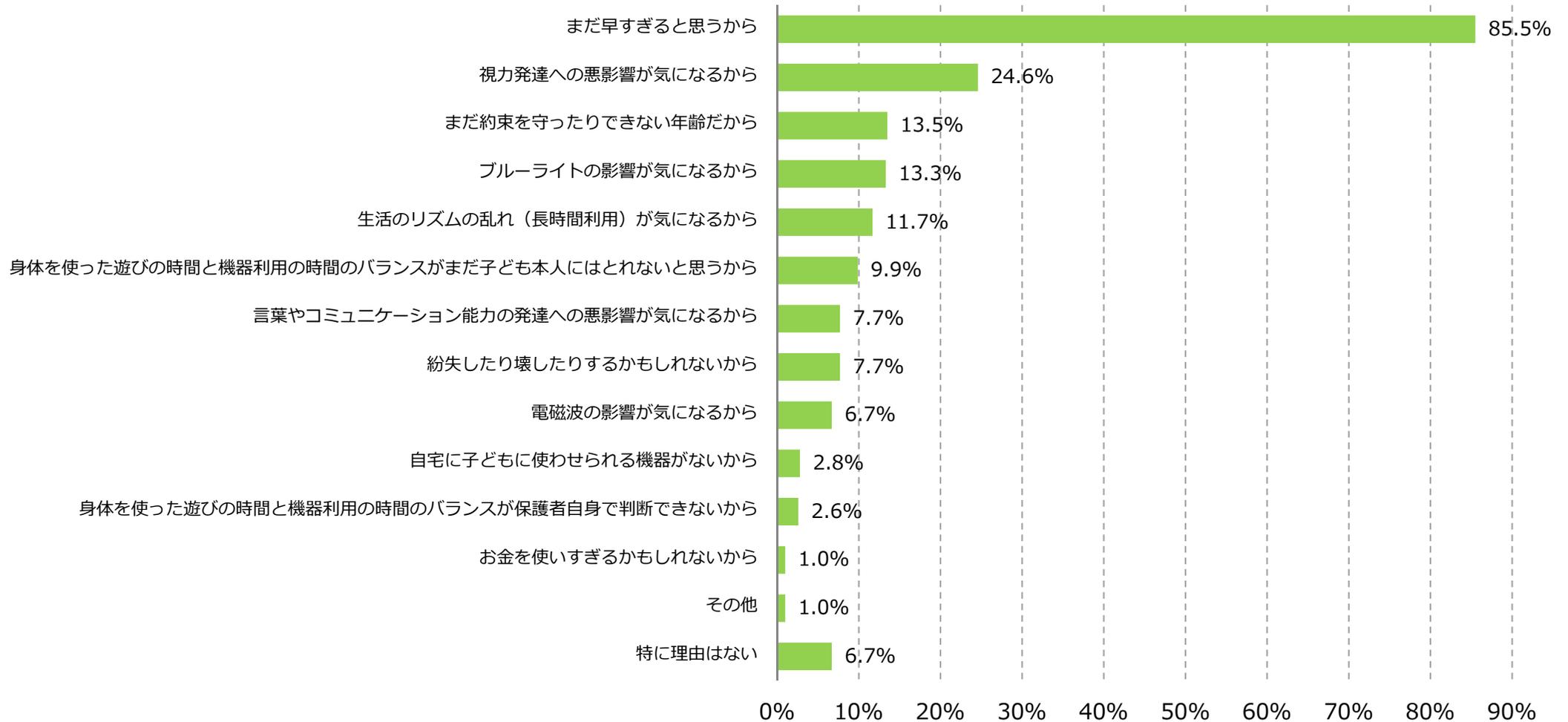


「学習ができる」「操作を覚える」などの積極的な理由は比較的少ない



情報通信機器をまだ使わせていない理由

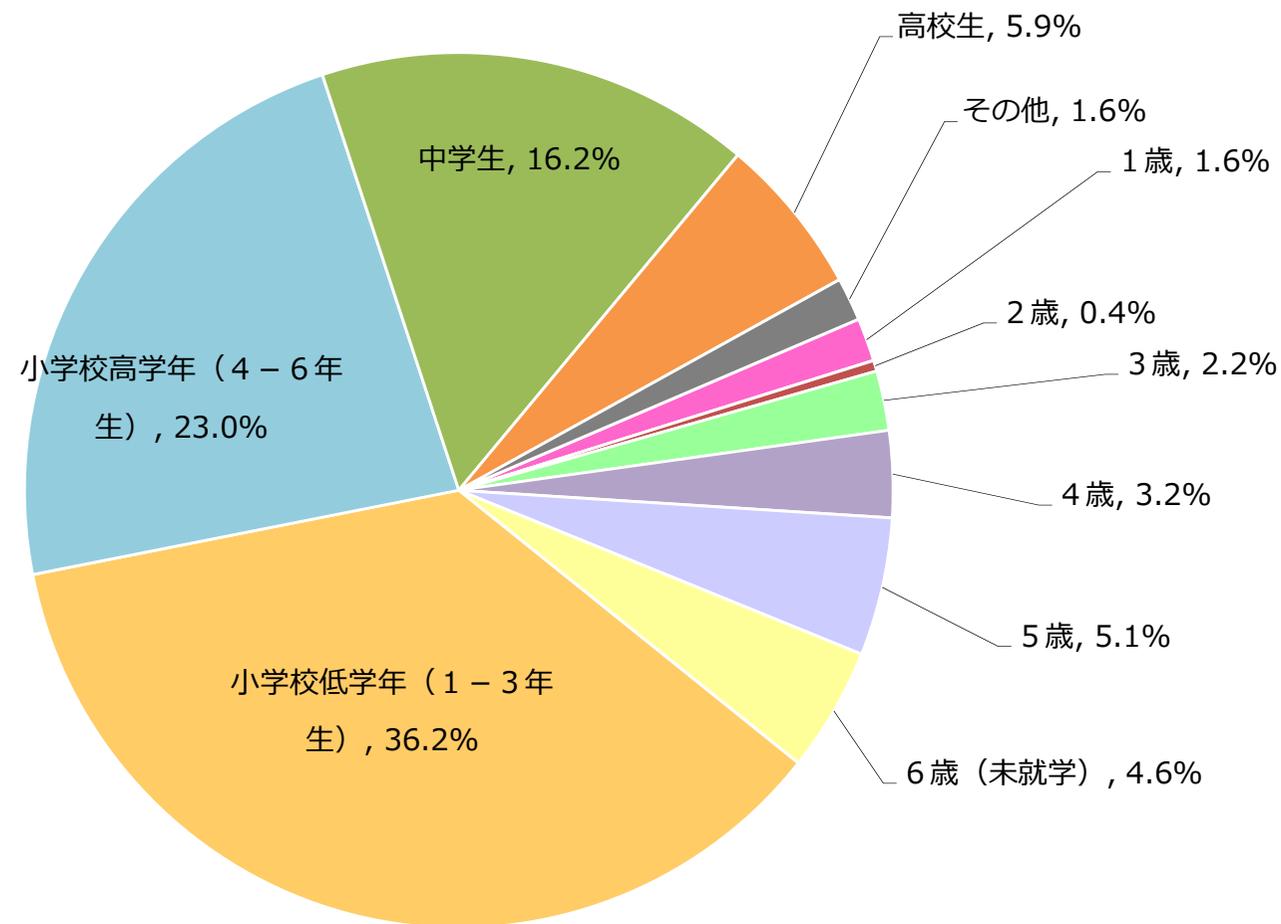
Q. なぜお子さんにスマートフォン、タブレット、パソコン、ゲーム機などの機器を使わせていないのですか。当てはまる理由をお知らせください。（複数回答可）（n = 505）





情報通信機器を使わせてもいいと思う年齢

Q. お子さんに何歳（何年生）くらいからスマートフォン、タブレット、パソコン、ゲーム機などの機器を使わせてもいいと考えていますか。（単一回答）（n = 505）

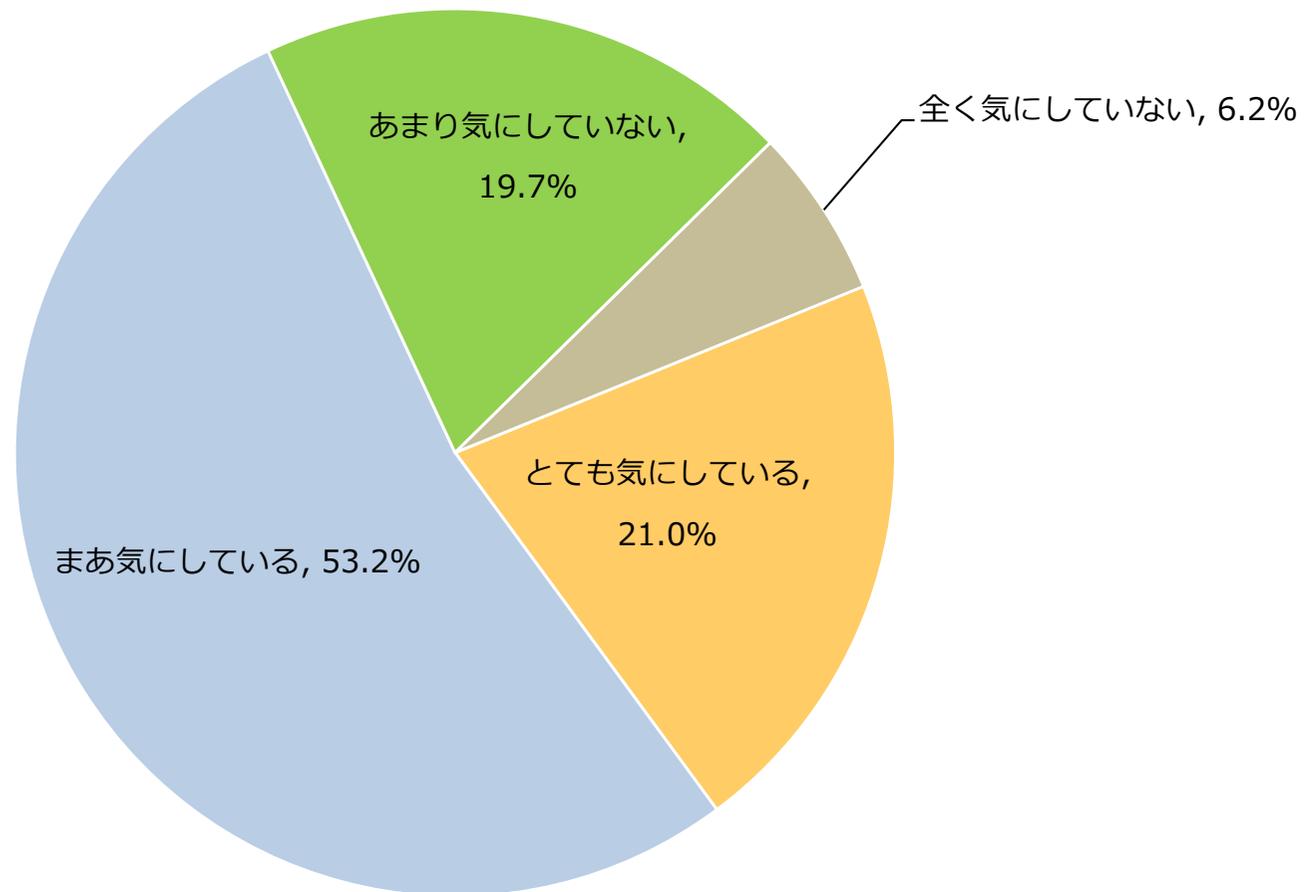


まだ機器を利用させていない保護者の多くが考える、「利用させてもよい」時期は小学生以降



保護者の利用習慣の影響についての意識

Q. ゲーム機やスマートフォンなどの情報通信機器については、保護者の利用習慣が子どもに大きく影響すると言われていますが、あなたは自分自身の使い方について、気にしている方ですか。（単一回答）（n=1149）



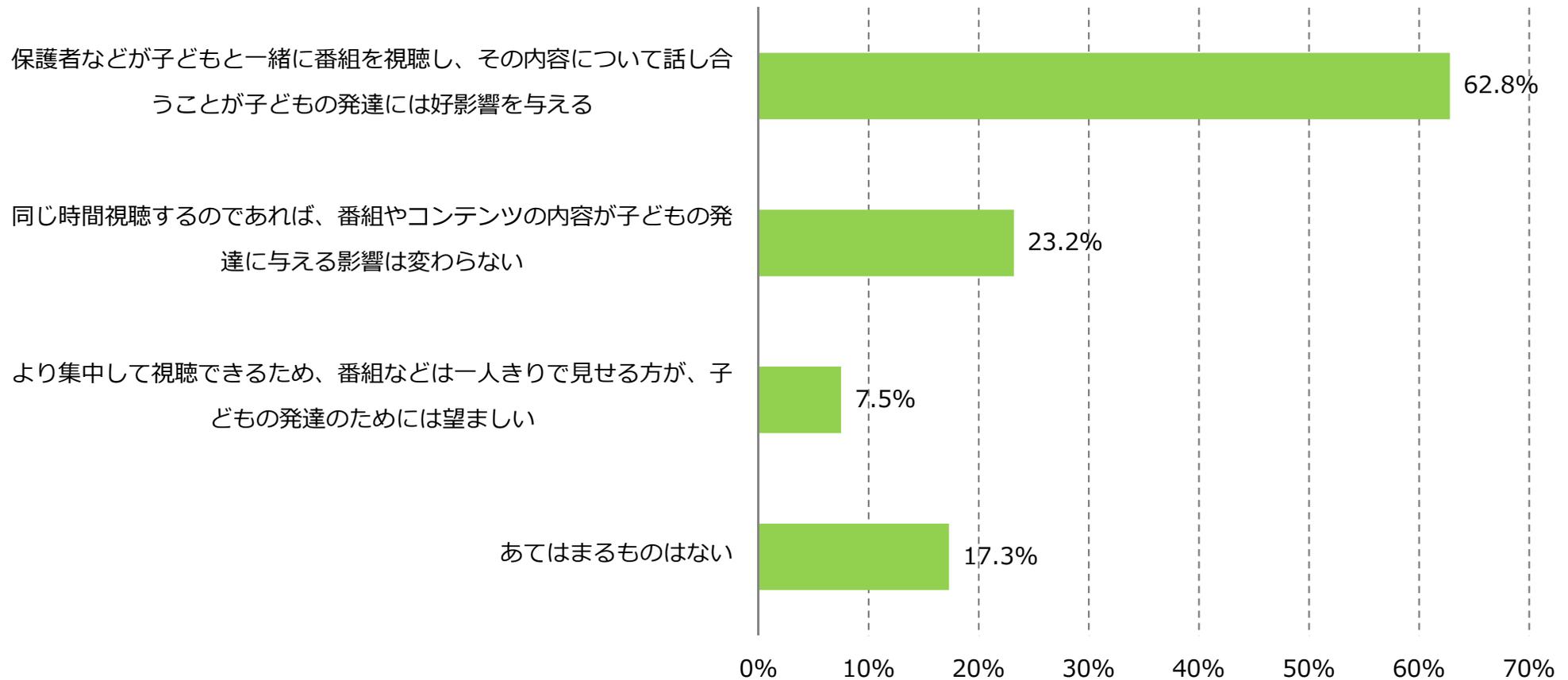
7割以上の保護者は、「子どもへの影響を考え自身の使い方を気にしている」と回答



コンテンツとの望ましい関わり方についての知識

Q. 子どもに見せるテレビ番組やビデオのコンテンツについて、あなたが正しいと思われるものを選択してください。

(複数回答可) (n = 1149)



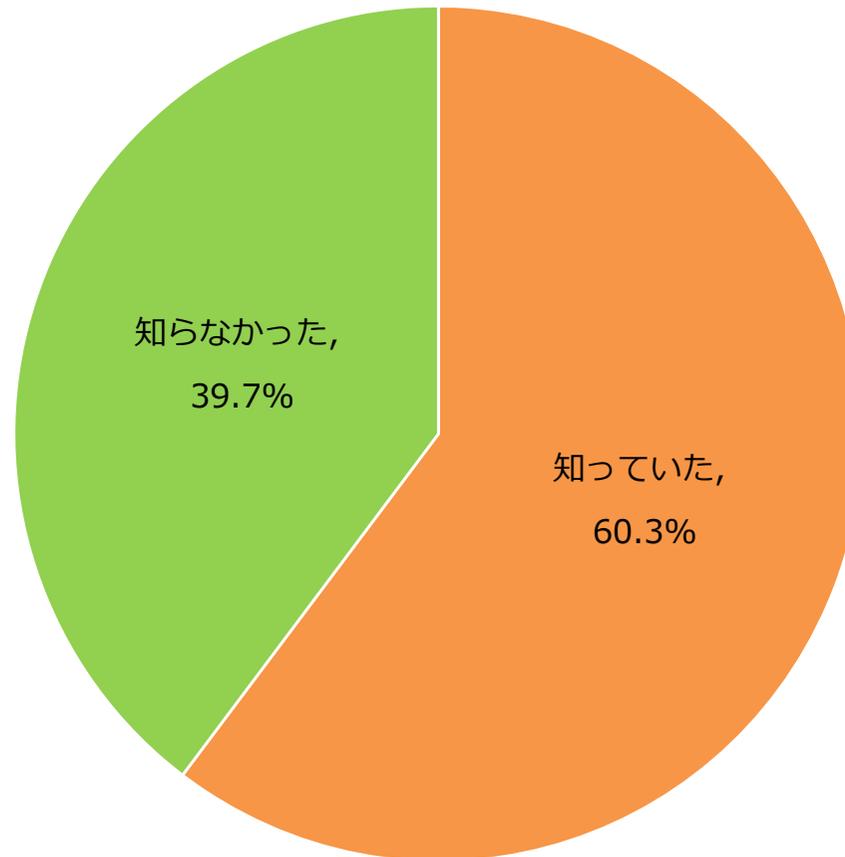
コンテンツとの望ましい関わり方について、正しく理解している保護者は全体の6割程度



子どもに必要な睡眠時間についての知識

Q. 子どもの年齢（発達）によって、必要な睡眠時間の目安が示されていることをご存じですか。（単一回答）

(n = 1149)



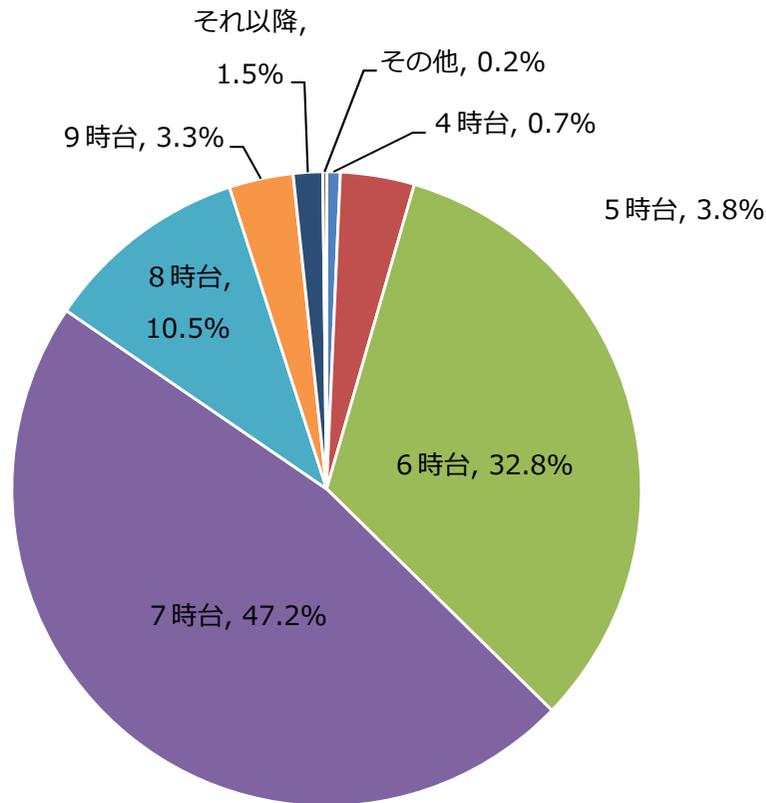
子どもに必要な睡眠時間について知識があるとする保護者は、全体の6割程度



子どもの実際の生活習慣（入眠と起床の時間）

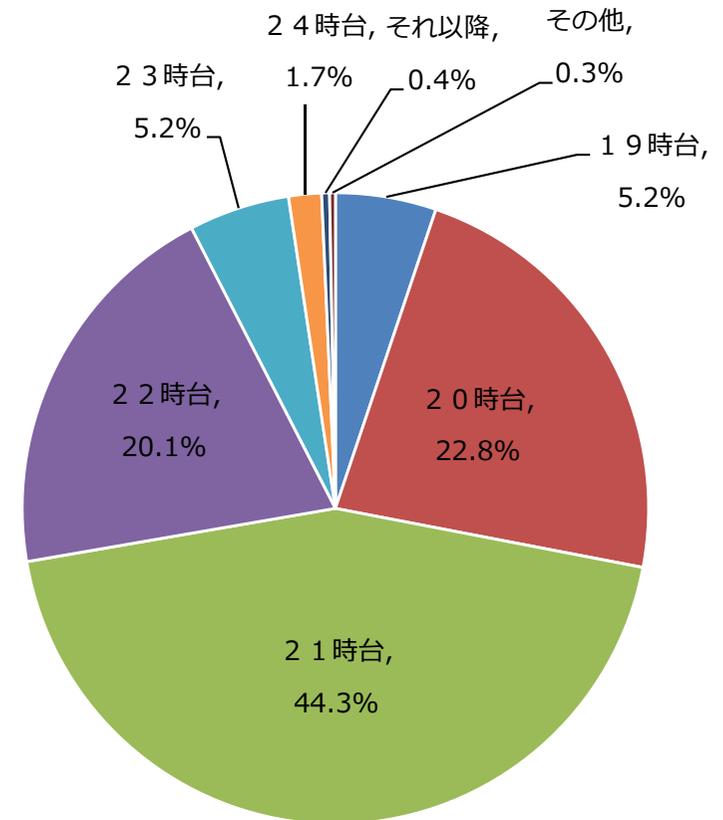
子どもの起床時間

Q. あなたの第一子のお子さんの起床する時間は何時ごろですか
 (平日) (単一回答) (n = 1149)



子どもの入眠時間

Q. あなたの第一子のお子さんが入眠する時間は何時ごろですか
 (平日) (単一回答) (n = 1149)

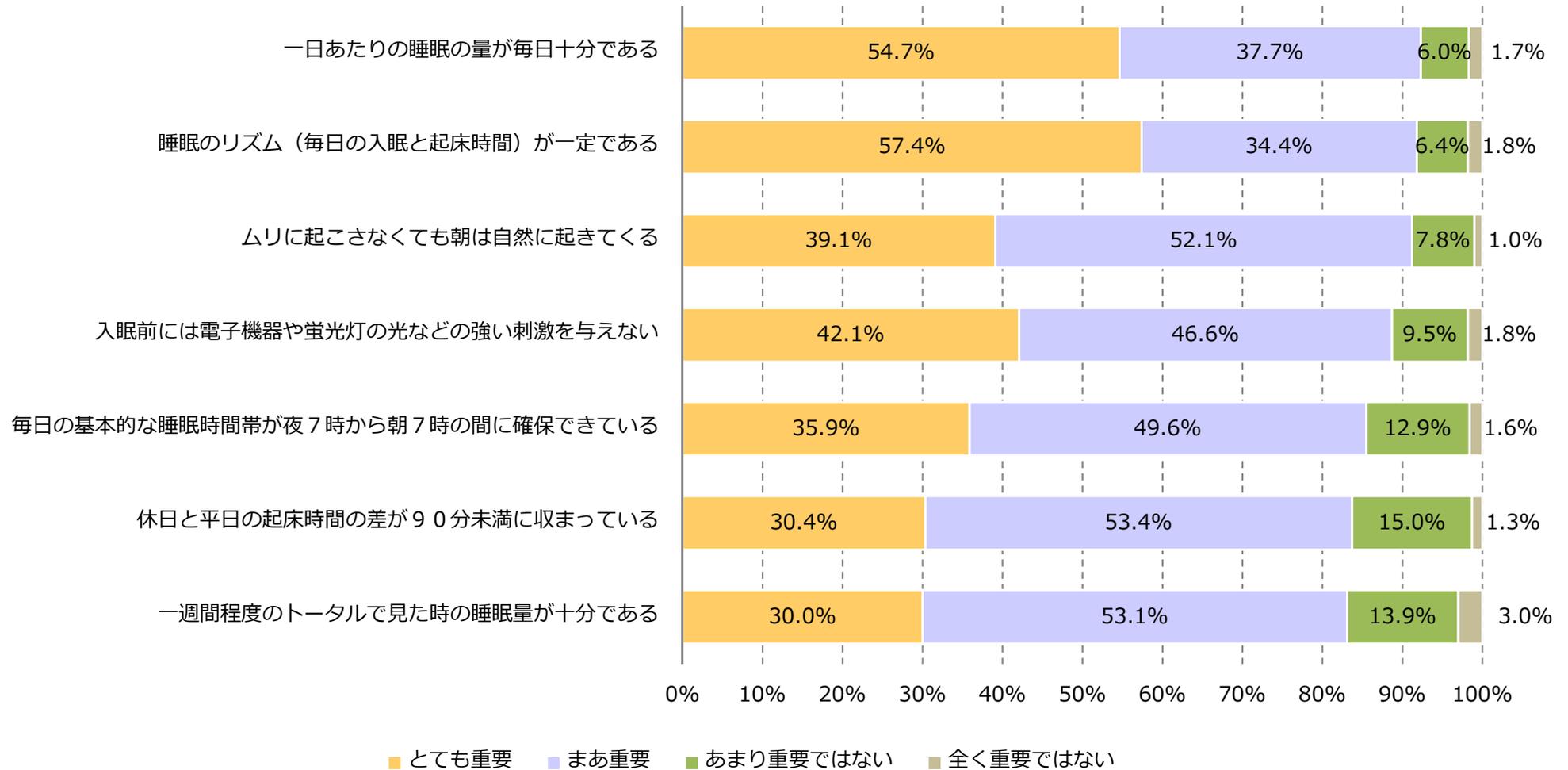


未就学期としては遅いと思われる起床時間・入眠時間の回答が少なくない



子どもの睡眠に関する知識

Q. 子どもの睡眠を考える上で、以下の項目はそれぞれどの程度重要だと思いますか。（単一回答）（n=1149）

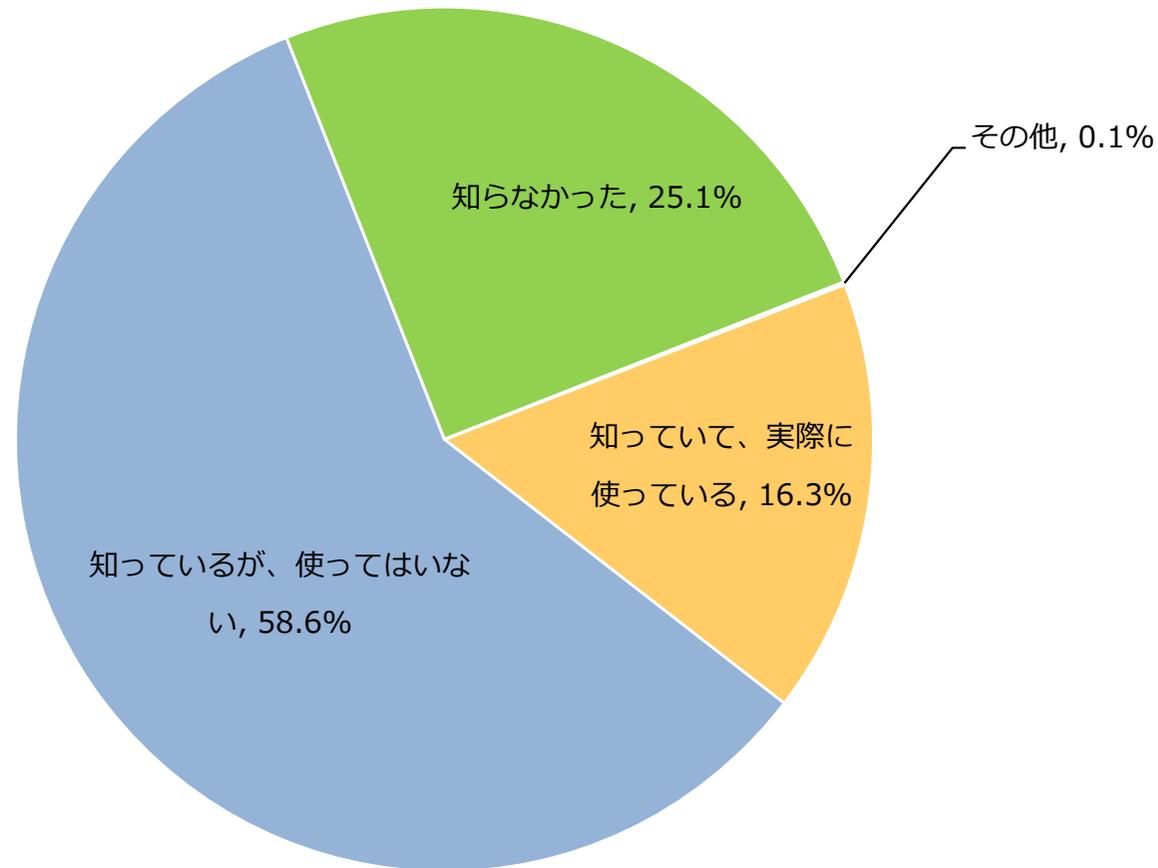


正しく理解している保護者がほとんどだが、具体的な目安については回答のバラつきがやや大きくなる



機器に備わる保護者管理機能の理解と利用

Q. ゲーム機やスマートフォンなど、子どもが触れる情報機器には、子どもに使わせたくない一部の機能を制限する仕組みが無料で提供されていることをご存じでしたか。（単一回答）（n=1149）

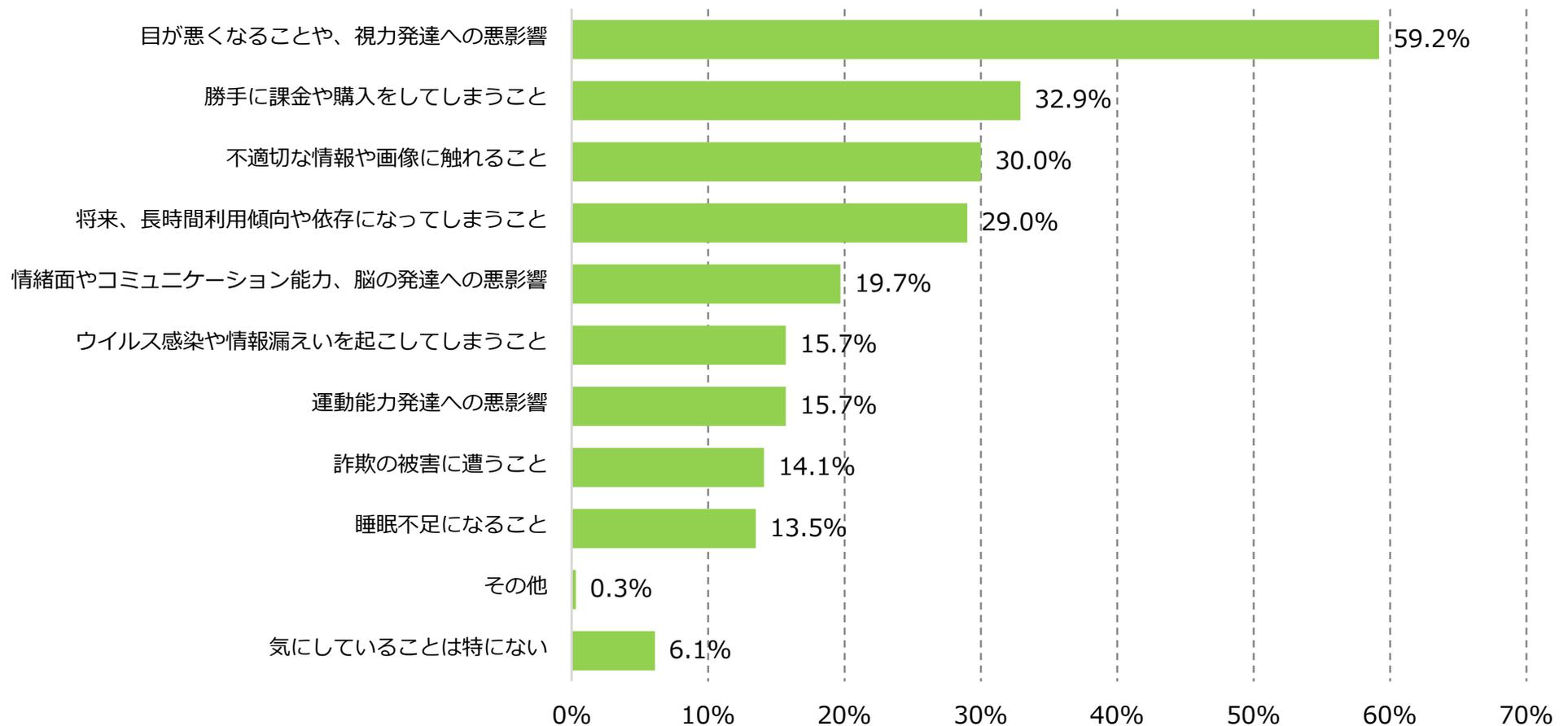


全体の7割以上が保護者管理機能（利用制限機能）について「知っている」



未就学児の情報通信機器利用に関する懸念点

Q. お子さんが「最もよく利用している機器」を利用することに伴うトラブルや影響として、
気にしていることを教えてください。（複数回答可）（n=644）



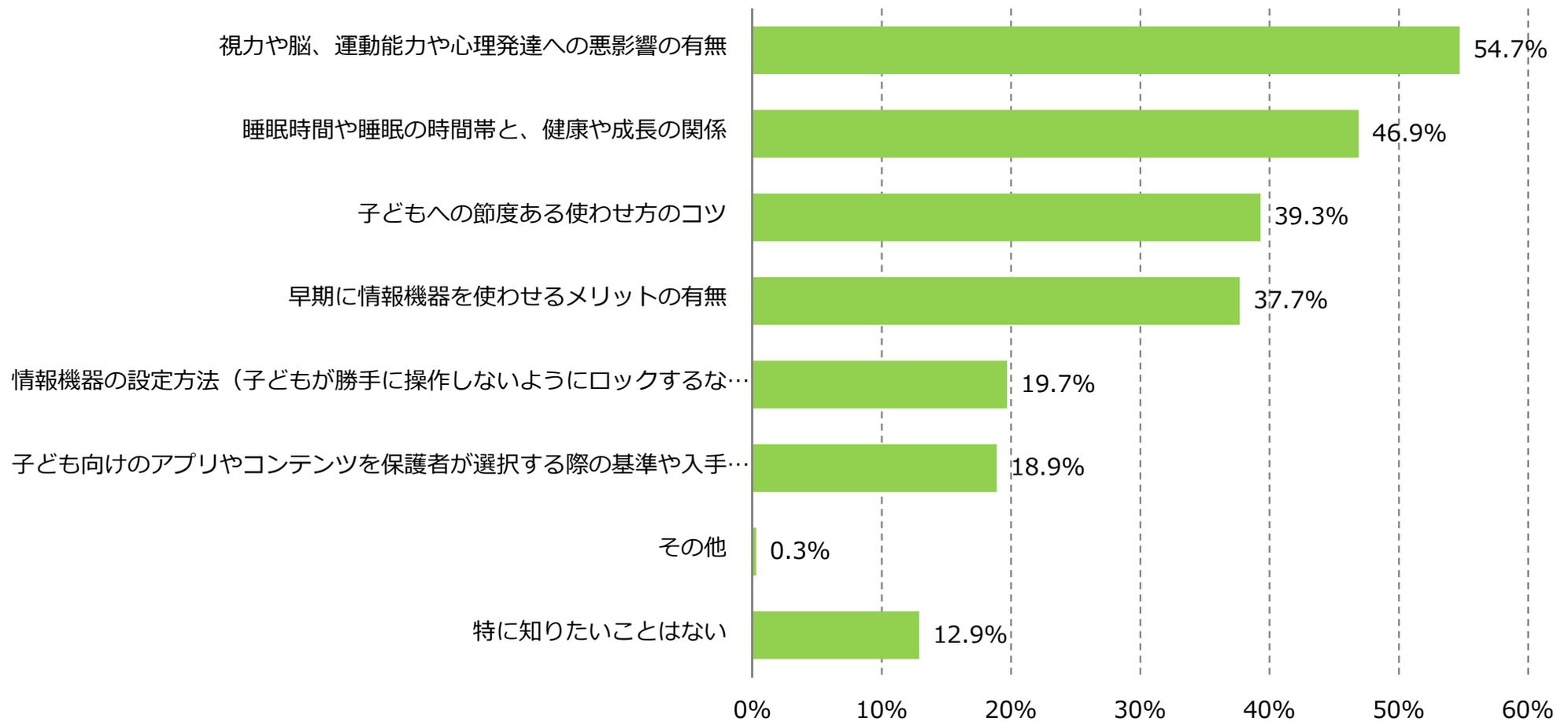
子どもに機器を使わせている保護者の9割以上が何らかの懸念事項を挙げている



未就学児の情報通信機器利用について 保護者が知りたい事

Q. お子さんの情報機器の使い方や安全な利用について、どのようなことを知りたいですか。（複数回答可）

(n = 1149)

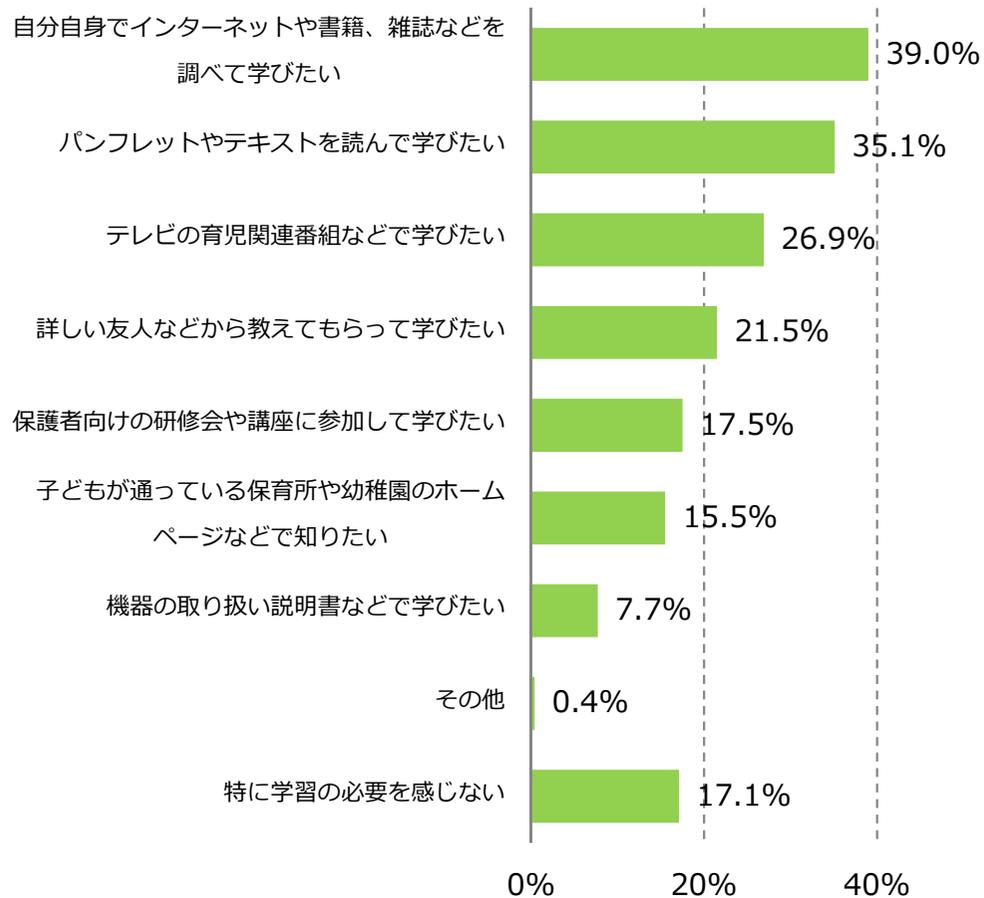


機器そのものの使い方など以前に、「心身への影響」や「睡眠・成長の関係」の関心が高い

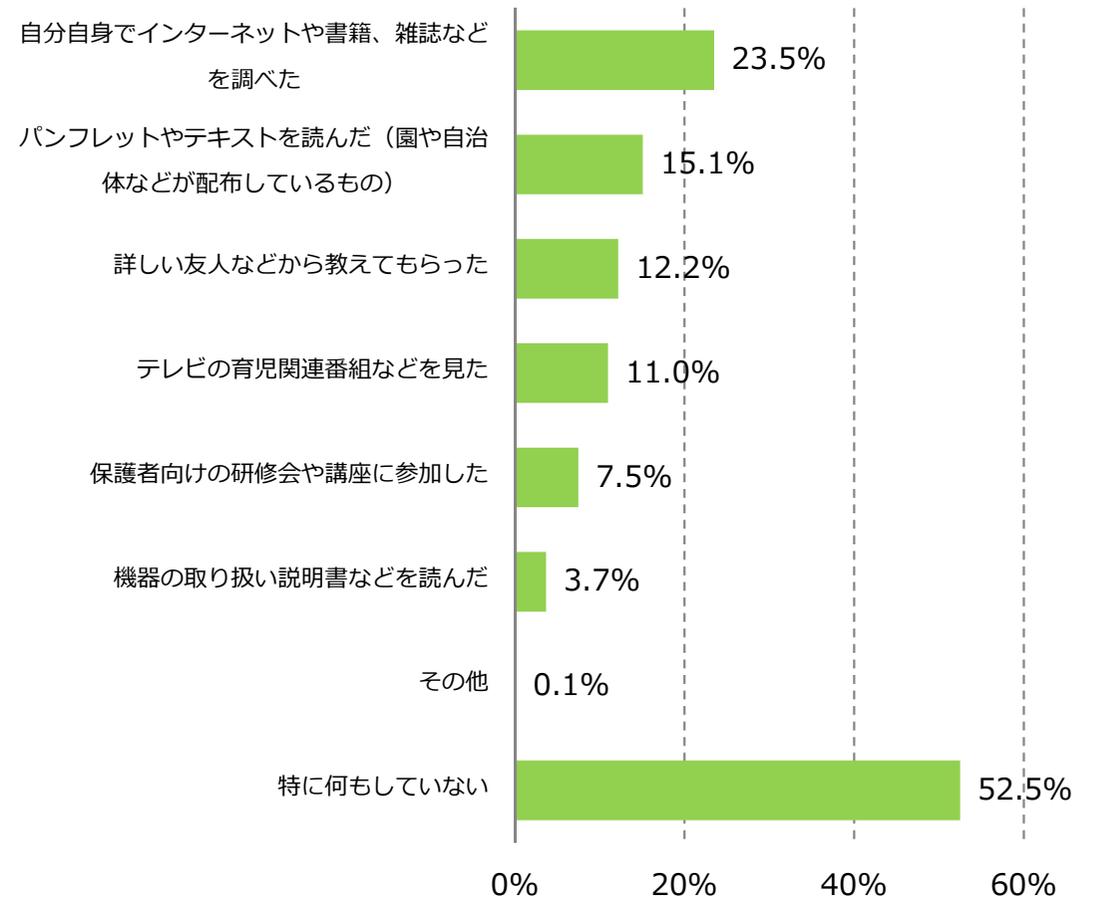


未就学児の情報通信機器利用について 保護者が期待する学習の機会と実際の行動

Q. お子さんへの情報機器の使い方や安全な利用について、どのように学習したいですか。（複数回答可）（n = 1149）



Q. お子さんへの情報機器の使い方や安全な利用について、実際にしたことを教えてください。（複数回答可）（n = 1149）

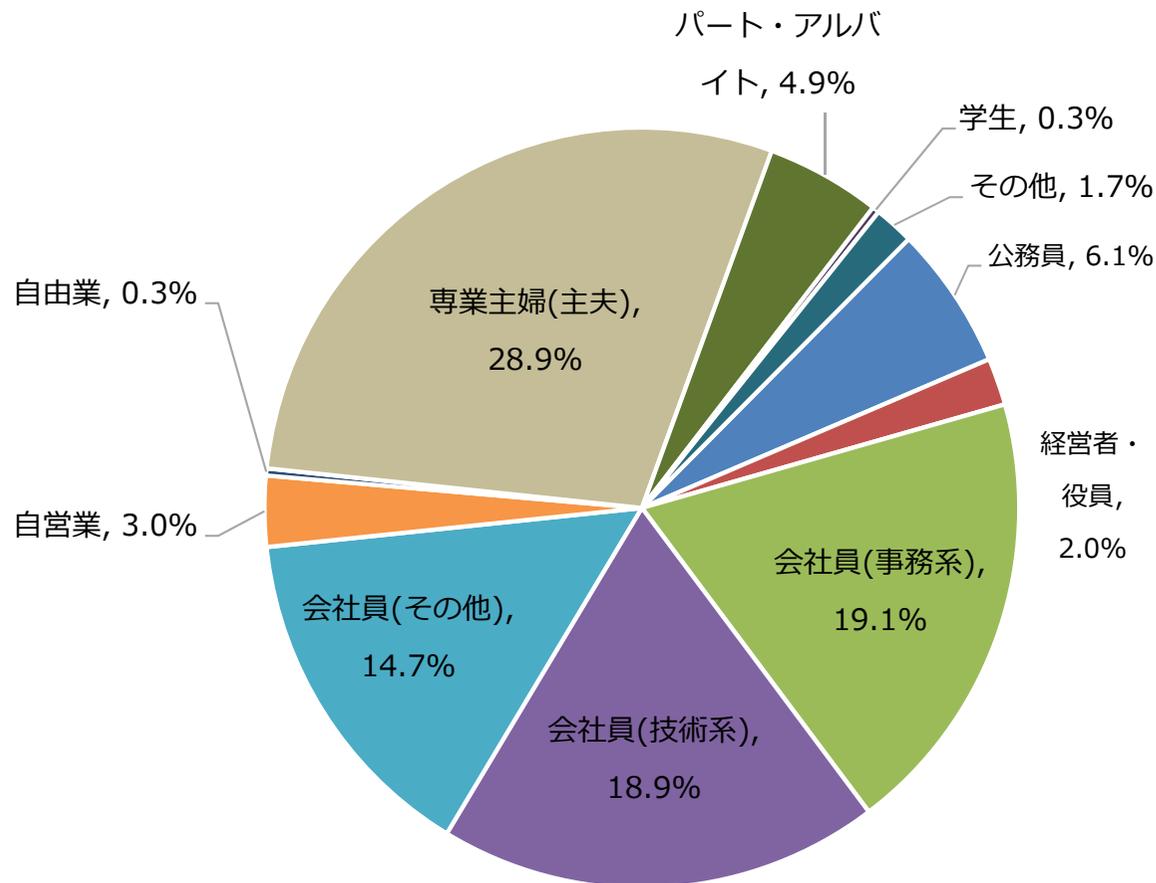


全体の8割以上の保護者が学習の必要を感じているが、実際に何らかの行動をした割合は半数に満たない

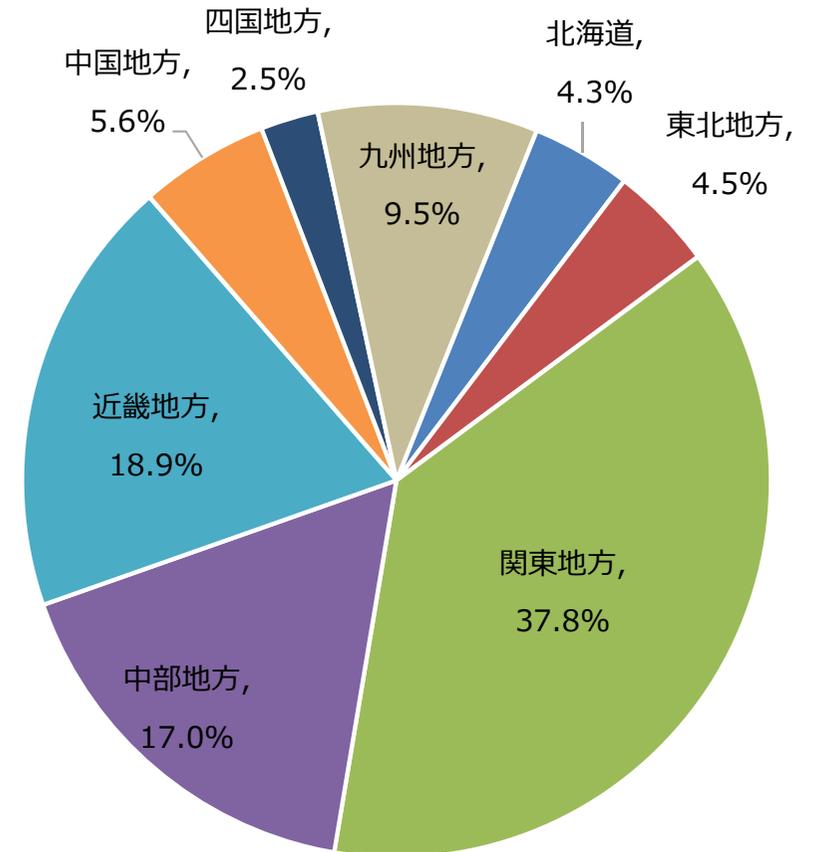


回答者属性（職業・居住地域）

職業（単一回答）（n=1149）



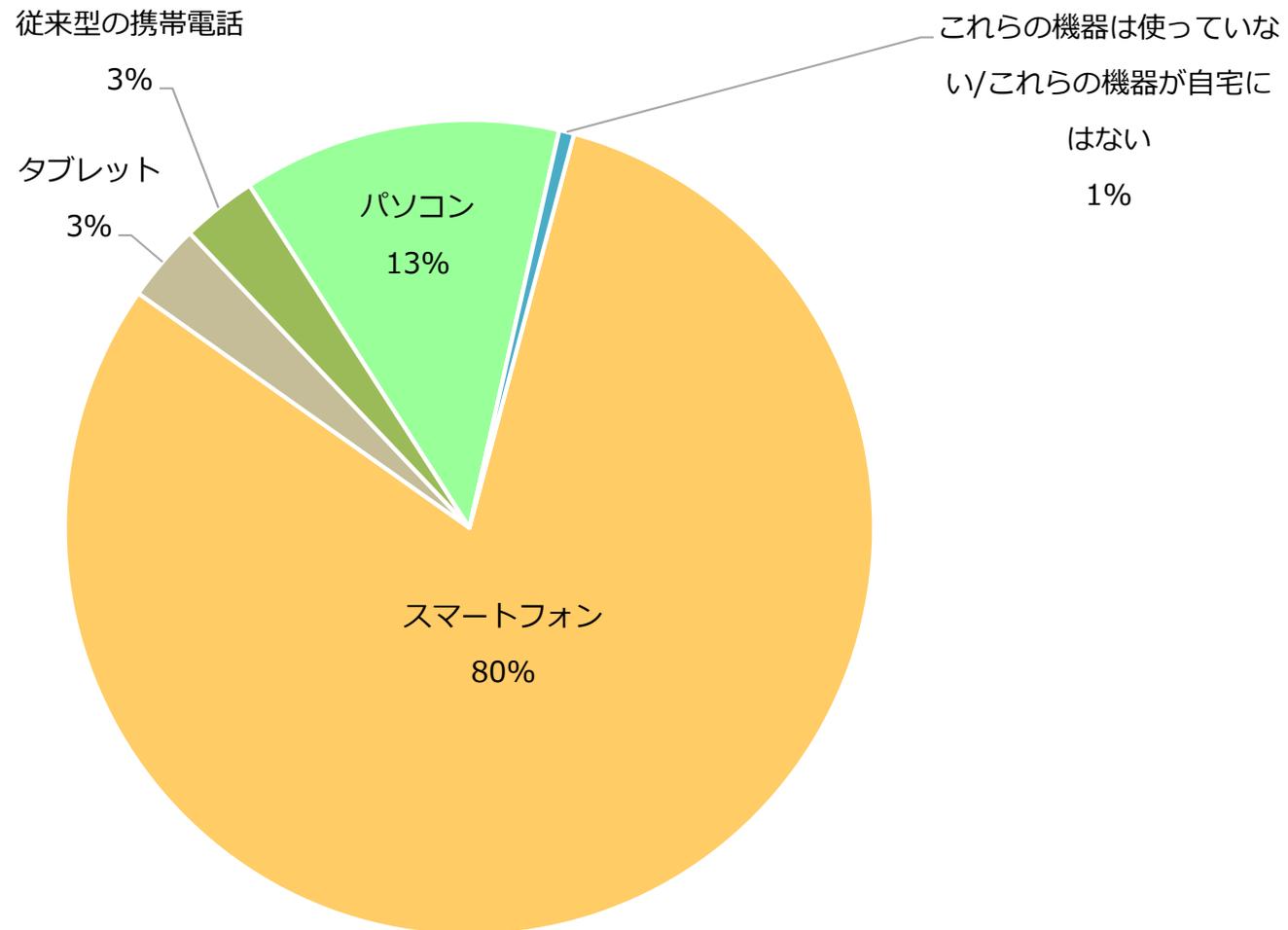
地域（単一回答）（n=1149）





回答者属性（保護者自身の利用機器）

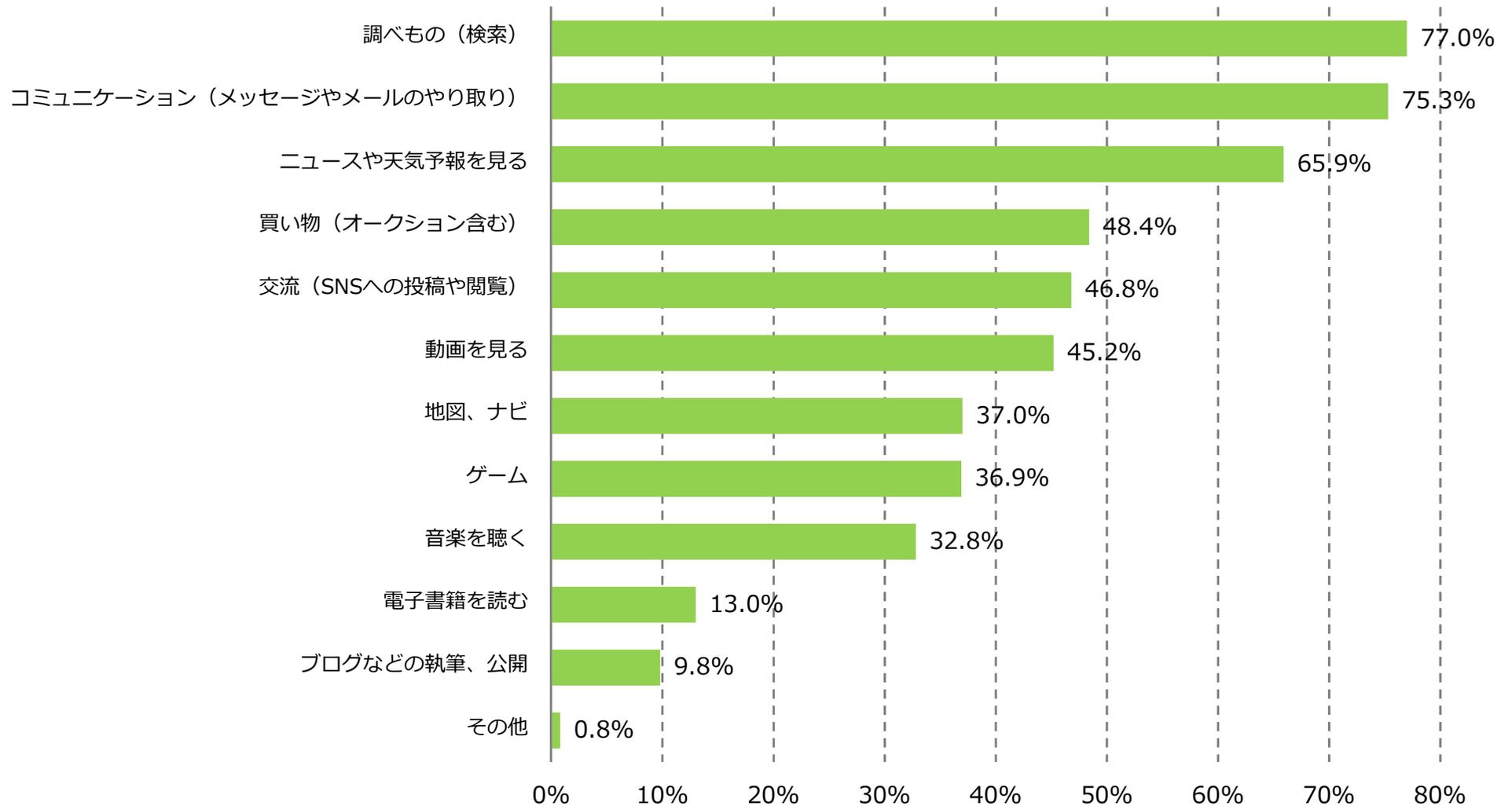
Q. あなた自身がふだん、最もよく使っているのは次のうちのどの機器ですか？（職場などで支給されて使う機器は除きます）（単一回答）（n=1149）





回答者属性（保護者の利用内容）

Q. あなた自身は「最もよく利用している機器」でどんなことをしていますか。（複数回答可）（n=1142）

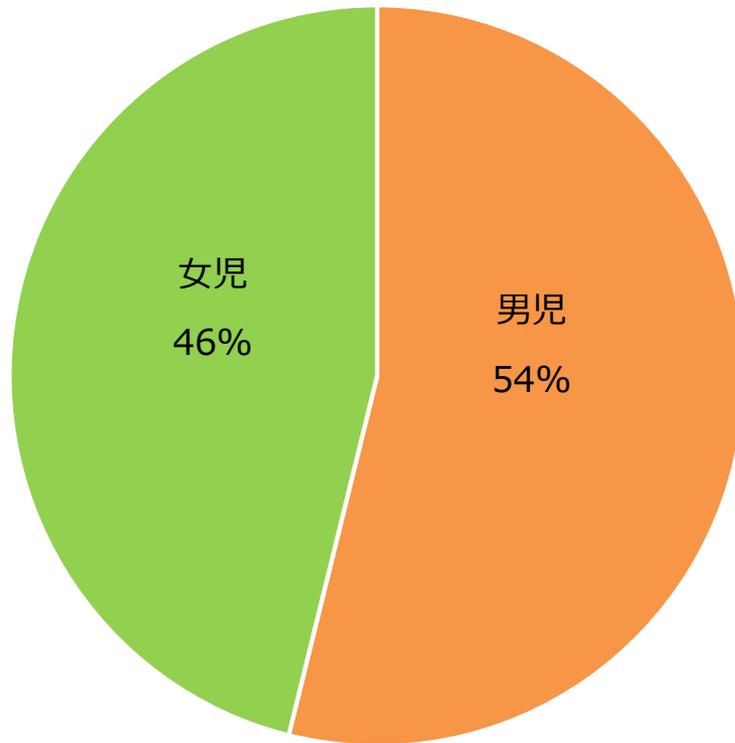




回答者属性（第一子の性別と年齢）

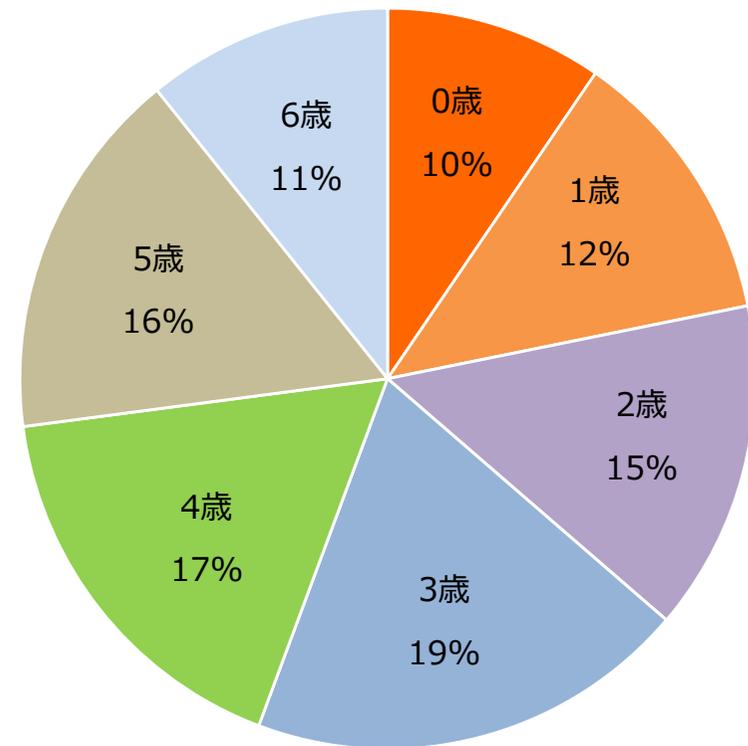
子どもの性別

子どもの性別（単一回答）（n=1149）



子どもの年齢

子どもの年齢（単一回答）（n=1149）





APPENDIX

「子どもたちのインターネット利用について考える研究会 (子どもネット研)」とは

2008年、一部のゲームサイトやコミュニティサイトを利用していた子どもたちが、犯罪やトラブルに巻き込まれるという事件が問題となり、インターネット利用を法規制すべきだという考えのもと、青少年インターネット利用環境整備法が審議されました。

子どものインターネット利用が既に一般化した状況下では、携帯を取り上げるような趣旨での法規制で事態の改善をはかるのは現実的ではないと考え、保護者やユーザーだけでなく、事業者や専門家も一体となって取り組むことが必要なのではないかと感じ、2008年の4月に「子どもネット研」を設立しました。

子どものインターネット利用に関する問題は、「これをすれば大丈夫」という根本的な解決策は存在しません。だからこそ、一番重要なのは子どもとの対話です。親子の信頼関係の上で、家庭内でルールをつくり、何かあったら相談するよう日ごろから声がけをするなど、日々積み重ねが一番の防御策と考え、対話を行う上での声がけのヒントを教材として無償提供しています。





「子どもたちのインターネット利用について考える研究会 (子どもネット研)」 体制

座長：坂元 章（さかもと・あきら）

お茶の水女子大学 基幹研究院 人間科学系 教授
専門は社会心理学、教育工学

座長代理：笹井宏益（ささい・ひろみ）

国立教育政策研究所 総括客員研究員
専門は社会教育学、生涯学習政策論

委員：井島 信枝（いじま・のぶえ）

子どもねっと会議所代表
福岡県青少年インターネット適正利用推進協議会委員

委員：新谷 珠恵（しんたに・たまえ）

一般社団法人 東京都小学校PTA協議会 相談役
東京都教育研究連盟副会長

委員：玉田和恵（たまだ・かずえ）

江戸川大学 メディアコミュニケーション学部 情報文化学科 学科長・教授
専門は情報教育、教育工学

委員：七海 陽（ななみ・よう）

相模女子大学 学芸学部 子ども教育学科 准教授
専門は児童文化学、子どもメディア論、メディアリテラシー教育

事務局

ヤフー株式会社

ネットスター株式会社

アルプス システム インテグレーション株式会社

運営協力企業

ピットクルー株式会社